

ア ス サ ブ ラ イ ン

ASSUBLINE

Aspace専用補助線入力プラグインソフト

ASSUBLINE (アスサブライン) とは

Aspace 専用補助線入力プラグイン ASSUBLINE は躯体入力システム ASIN の入力に対し、形状入力の分野で機能します。

補助線入力プラグイン ASSUBLINE は ASIN 上の補助線(「主軸又は間通りに変更」や「下絵」としての機能する)に焦点をあて、補助線の自由な入力を目的として開発されました。DXF ファイルをレイヤー分けして読み込み、グラフィック性能の向上、ツール機能の向上により、様々な状況に対しパフォーマンスを発揮します。



補助線入力の自由性とモデリング

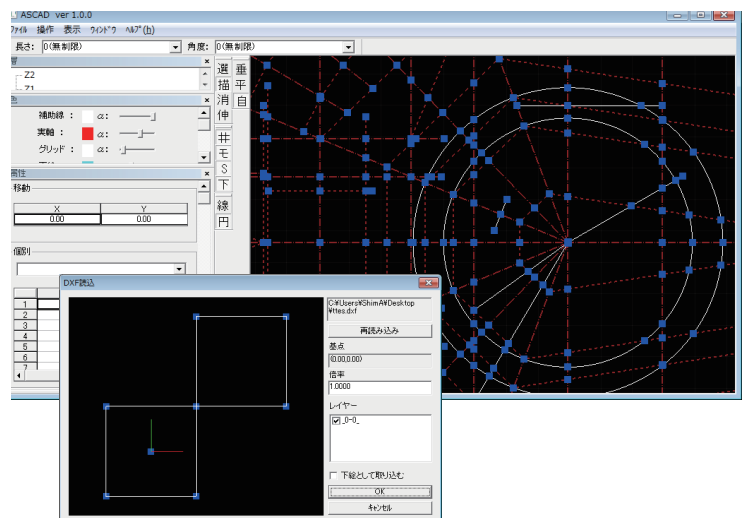
補助線入力と聞いて「たかが補助線」と思うかもしれませんが、Aspace 製品における補助線は補助線自体を通り線、または間通りに設定することができます。

補助線を自由に、効率よく配置することができれば、平面形状画面で迷うことなく通り線を配置できるので、思い通りの形状を設計するのに役立ちます。描画速度も速く、スナップポイントが可視化されているため、迅速に配置することが可能。また、非常にシンプルなインターフェースになっているので覚えやすく、単通りの設定や角度のある軸など複雑な建物になればなるほど、ASSUBLINE の優位性は顕著になることでしょう。

意匠CADのような操作性

補助線は端点全てを数値として入力できるほか、円の半径、角度等自由に属性を編集できます。

また、ASIN で入力された通り線を下絵として表示するので、必要な場所に必要の補助線を書くことが可能。さらに、DXF 形式のデータを補助線として取り込み、思いのままに配置できます。DXF 形式では、レイヤー毎での取り込みが可能なので部材・軸など、レイヤー分けをしている場合は円滑に取り込めます。



1ヵ月無料体験公開中 詳しくはお問い合わせください。

■製品名	ASSUBLINE (アスサブライン)	推奨動作環境	
■価格	43,200円(税込)	●OS : Microsoft Windows 7/8.1/10 (32bit, 64bit)	●RAM : 512MB以上
■動作プログラム	Aspaceシリーズ ver.7.1.4以降	●VRAM : 64MB以上	●ハードディスクの空き容量 : 100MB以上
		●CPU : Intel Pentium4 2.8GHz, または同等のAMD Athlon以上	●その他周辺機器 : 2ボタンマウススクロールホイール付)